



香川ハンドセラピー研究会 主催

第2回スプリントセミナー

『 腱損傷 』

□会 期：平成28年9月25日（日）9:00～17:00（受付開始 8:30～）

□会 場：総合病院回生病院 新館5階 大会議室（〒762-0007 香川県坂出市室町3-5-28）

□研修内容：手指腱損傷に対する基礎的知識の習得と実際に臨床で使用するスプリントの作製実習。

□受講費：8,000円（※テキスト代とスプリント作製に必要な材料費を含んでおります）

□定 員：40名（※先着順）

□申し込み方法：メール件名に「第2回スプリントセミナー受講申し込み」と明記いただき、

①氏名②所属施設③所属住所④連絡先アドレス⑤職種（経験年数）を記載し、必ず返信が可能な個人メールアドレスを用いてメールにて下記事務局までお申し込み下さい。
定員に達し次第締め切らせていただきますので、できるだけお早めにお申し込み下さい。

□お問い合わせ先：香川ハンドセラピー研究会事務局 E-mail：kagawa.handtherapy@gmail.com

□プログラム（※午前の部：講義形式、午後の部：スプリントの作製実習が中心）

8:30～9:00	受付・開会
9:00～9:50	基礎知識：腱損傷概論 講師：久保潤一郎（香川大学医学部附属病院） 手指腱損傷の後療法を行う上で必要な腱の機能解剖に関する知識、腱の治癒過程や one wound one scar concept に基づく癒着の理解など生理的事象や早期運動を行う際の注意点について解説する。
10:00～10:50	ハンドセラピー①：手指屈筋腱縫合術後の後療法 講師：石井 誠二（総合病院回生病院） 手指屈筋腱縫合術後の後療法や実施上の注意点に関して、特に治療に難渋する zone II での屈筋腱縫合術後の早期運動療法と治療時期別スプリント療法について実際の症例を踏まえて解説する。
11:00～11:50	ハンドセラピー②：手指伸筋腱縫合術後の後療法 講師：進藤 正義（松原メイフラワー病院） 手指伸筋腱縫合術後の早期運動療法におけるプロトコルやリスクマネジメントに関して、リウマチ手に多発する手関節部 zone VII での伸筋腱断裂術後の逆クライナート法の実際について解説する。
12:00～13:00	昼休憩
13:00～13:30	熱可塑性プラスチック材の特性と採型のポイント
13:30～14:00 (30分)	作製実習①：マレットフィンガースプリント 球技中の突き指などによって発生しやすい腱性槌指（zone I での終止腱損傷）に対し、テーピングと併せて保存療法を目的として使用する。作製実習では、掌側型のスプリントを作製する予定。
14:00～16:00 (120分)	作製実習②：背側アウトリガースプリント 手指屈筋腱損傷後の筋力強化や拘縮矯正（瘢痕組織の伸張）を目的に使用したり、手指伸筋腱縫合術後の早期運動療法（逆クライナート法）において縫合部での腱癒着の防止を図る目的にて使用する。
16:00～16:50	症例報告 ①zone II 小指屈筋腱縫合術後の早期運動療法と治療時期に併せた装具療法の試み ②Reverse Kleinert 法を用いた zone V 手指伸筋腱縫合術後の早期運動療法 ③SLE による屈筋腱皮下断裂に対し腱移行術後早期運動療法を施行した症例の治療経験
17:00	閉会

主催：香川ハンドセラピー研究会